

平成23年12月3日（土）、4日（日）に山口大学医学部附属病院主催緩和ケア研修会がANAクラウンプラザホテル（旧宇部全日空ホテル）で開催されました。「がん対策基本法」に基づく「がん対策推進基本計画」において、「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについて基本的な知識を習得する」ことが目標と掲げられています。この目標達成のため、国が定めた「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」に基づき、統一的なプログラムによる研修会を実施しています。

当院の吉野茂文副腫瘍センター長の開会の挨拶に始まり、2日間で12時間以上の講義、グループ演習、ロールプレイ形式で行われました。研修内容は、がん性疼痛治療法、身体症状に関する緩和ケア、精神症状に関する緩和ケア、コミュニケーション技術等を含む内容でした。当院から、精神科の綿貫先生、麻酔科の平賀先生・松元先生・原田先生、看護部の宮内さん、MSWの高砂さん、また、ペインクリニック山本医院の山本院長をファシリテーターとして迎え、開業医を含む様々な診療科から、21名の参加がありました。

講義での質疑応答の時間では、様々な意見や質問が出されるなど、参加者された先生方の熱心な様子が見受けられ、参加者の真剣さや意欲の高さが感じられました。

参加者の先生方からは「日常診療で行っている緩和ケアの知識の整理ができ、新たな知識も習得できたので非常に役立った」「ロールプレイやグループワークでいろいろな視点からの経験が出来て良かった」など多くの意見が寄せられ、2日間の研修会を無事に終えることが出来ました。

講義風景



ロールプレイ風景



受講風景



修了証書授与